

# 平成22年度学校経営方針

江戸川区立小岩第四中学校長 阿久津勝利



本校がこれまでに積み上げた歴史と伝統、実績を基盤にしつつ、主幹教諭、主任教諭の企画力と指導性の発揮による新しい体制による組織的な学校経営を行う。

一人一人の教職員は、自分の役割を自覚して、指導力を高める研修に積極的に取り組むとともに、学校経営参画意識をもって教育目標を達成する教育活動を展開するとともに、校訓を活かした学校づくりを進める。

## 1 教育目標

### (1) めざす生徒の姿

- ・ 明るい生徒
- ・ 心身ともに健やかな生徒
- ・ ひとりだちのできる生徒
- ・ 心の豊かな生徒

## (2) 子どもの学びを支える、教職員・保護者

めざす教職員像	求めたい保護者像
生徒を愛し、深く理解し、惜しめない指導と支援を行う教職員 地域社会を知り、愛し、溶け込んで、地域力を活用しながら生徒を教え導く教師 授業力の向上に取組み、絶えず指導と評価の工夫・改善をめざす教師 教育活動充実のための条件や環境整備に積極的に努める職員	子どもを愛し、子どものために基本的な生活習慣と社会のルールを教える保護者 子どもの学習や活動の支援を確実に行う保護者 意図的に子どもと語る場面を設け、子どもの内面の理解に努める保護者 学校を愛し、地域社会を愛し、関係機関と協働して子どもを育てようとする保護者

## 2 教育目標実現のための基本方針

### (1) 基礎的な学力を身に付けた生徒を育てる

指導力向上にかかわる情報収集に努め、校内研修の内容に授業研究を盛り込んで、生徒に学ぶことの意義や喜びを感じさせる指導の方法を工夫するとともに、次の視点で各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の工夫ある指導を行う。

- ・すべての生徒に基礎的な知識、技能を確実に定着させる。
- ・すべての生徒の自ら学び自ら考える力を高める。

### (2) 規範意識をもち、礼節を重んじ物事に誠実に取り組む生徒を育てる

教育活動全体を通じて、生徒の心を耕す指導を工夫し、次の視点で達成感や成就感の感じられる集団活動を行う。

- ・基本的な生活習慣を身に付けさせ、生活リズムを整えさせる。  
(あいさつの励行、正しい言葉遣い、時間を守る態度)
- ・社会性を身に付けさせる
- ・集団の一員としてよりよい生活を築こうとする態度を身に付けさせる。
- ・人間としての生き方を考えさせる。
- ・保護者の理解を得て、ゼミナールの考え方を取り入れた生徒指導を行う。

### (3) 情操豊かな生徒を育てる

地域人材や、地域の教育資源にかかわる情報収集を積極的に行い、次の視点で教材開発に努めるとともに、保護者や地域社会の理解と協力を得て、生徒の心を耕す教育活動を行う。

- ・様々な人、自然、ものと出会い、接し、かかわる体験をさせる。
- ・感性を磨く豊かな体験をさせる。
- ・豊かな人間性を身に付けさせる。

- ・地域への関心と愛着をもたせる。

#### (4) 健康な生徒を育てる

教育活動全体を通じて、体育・健康に関する指導を次の視点で行う。

- ・家庭や地域社会との連携を図る。
- ・日常生活において体育・健康に関する活動を実践する態度を身に付けさせる。
- ・生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を身に付けさせる。
- ・食育の実践を継続的とする。

#### (5) 地域から愛され、信頼される学校をつくる

全教職員が、教育公務員としての使命を自覚し、教育目標実現のために、次の視点で職務を遂行する。

- ・厳正にサービスを遂行する。
- ・安心して落ち着いた学校生活を送れる学校をつくる。
- ・組織的に、意図的、計画的な教育活動を行う。
- ・外部評価を実施し、その結果をふまえて、絶えず教育活動を見直し改善を図る。
- ・近隣小学校と連携した教育活動を行い、生徒の健全育成を実現する。

#### (6) 充実した校内研修とOJTにより、教員の指導力を高める

授業の改善・充実を図る校内研修を実施し、教員の指導力を高めるとともに、次代を担う教員の育成にも寄与する。

- ・小・中連携にかかわる試行的な実践を行う。
- ・副校長、主幹教諭のリーダーシップの下、主任教諭による若手教員のOJTを組織的に行う。

### 3 職務遂行上の重点

#### (1) 情報の共有、共通理解、共通実践、情報公開の推進

報告、連絡、相談の徹底

保護者、地域社会、関係機関との連携、協働

#### (2) 計画的な教育実践と評価そして改善

P (Plan) D (Do) C (Check) A (Action) サイクルによる職務遂行 (早めに計画、相談、調整)

内部評価、外部評価の充実と評価結果をふまえた改善

#### (3) 迅速で効率的な職務遂行

時宜を得た生徒指導、保護者・地域への対応、迅速で正確な事務処理

効率的、効果的な予算執行

#### 4 今年度の実践課題

- ( 1 ) 確かな学力の定着・向上を図る指導の展開
  - 読書活動の定着
  - 国語における少人数グループ別指導の工夫
  - 習熟度に応じた指導の実施
  - 工夫ある補充学習の実施(土曜サプリメント講座や長期休業中の補充講座)
  - わかる授業、成就感、達成感の感じられる授業と適正な評価の実践
  - 一人一人の教員の「授業力」の向上
  - 特色ある食育の定着
- ( 2 ) 基本的な生活習慣の定着と規範意識、社会性を高める指導の充実
  - 心を耕す道德教育の展開
  - セーフティ教室の実施
  - 道德の時間の指導の充実
  - 地域社会・関係機関と連携を図った健全育成指導の展開
  - 保護者と連携を図った朝のあいさつ運動の実施
  - 身なりを整え、場に応じた丁寧な言葉を使って話すように促す指導の実施
- ( 3 ) 豊かな人間性や社会性、コミュニケーション能力を高める教育活動の実践
  - 中学2年生の連続5日間の職場体験の事後指導の充実
  - 人とかかわる活動の展開
  - 地域活動やボランティア活動への参加奨励、機会の設定
- ( 4 ) 自己有用感と自信を高める指導の推進
  - 各種コンテストへの応募、検定等の受検奨励
  - 地域諸活動の紹介と参加促進
- ( 5 ) 日本語学級の開設と円滑な運営
  - 通級生徒の的確な実態把握と適切な教育課程の編成
  - 指導態勢の整備と円滑な教育課程の実施、評価
- ( 6 ) 社会への貢献
  - 地域の教育力を高める公開講座等の開催
  - 生徒会による社会貢献活動の推進
  - 早稲田大学教職大学院との連携